

影響の可能性が指摘されている外来生物（爬虫類・両生類）の例（未定稿）

生態系、人の生命・身体及び農林水産業に係る影響の可能性が指摘されている外来生物について、平成14年8月の「移入種（外来種）への対応方針」に掲載された資料をもとに、「外来種ハンドブック（2002 生態学会編）」など最近の文献や海外での情報等を踏まえ、再整理したものである。

本資料は、今後の特定外来生物等の選定に当たっての便宜に資するため、検討のための素材として粗い精度の情報をとりまとめたものである。

影響の可能性が指摘されている外来生物(爬虫類)

目 名	科 名	和 名	学 名	生態系に係る影響				人の生命・ 身体に係る 影響	農林水産業 に係る影響	備考
				捕食	競合・ 駆逐	環境等 の攪乱	遺伝的 な攪乱			
カメ	カミツキガメ	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	■	■			■		
		ワニガメ	<i>Macroclermys temmincki</i>	■	■			■		
	ヌマガメ	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	■	■					(は種として所載)
トカゲ	イグアナ	グリーンアノール	<i>Anolis carolinensis</i>	■						
		ブラウンアノール	<i>Anolis sagrei</i>	□						
	ナミヘビ	タイワンスジオ	<i>Elaphe taeniura friesi</i>	■	■		■			
		ミナミオオガシラ	<i>Boiga irregularis</i>	□						
	クサリヘビ	タイワンハブ	<i>Trimeresurus mucrosquamatus</i>	■	■		■	■		

■ 国内で生態系等に影響を与えるおそれについて文献等で指摘があるもの。

: 日本Worst100

□ 海外の文献等で生態系等に影響を与えるおそれについて指摘があるもの。

: 世界Worst100

影響の可能性が指摘されている外来生物(両生類)

目 名	科 名	和 名	学 名	生態系に係る影響				人の生命・ 身体に係る 影響	農林水産業 に係る影響	備考
				捕食	競合・ 駆逐	環境等 の攪乱	遺伝的 な攪乱			
カエル	ヒキガエル	オオヒキガエル	<i>Bufo marinus</i>	■						
	アカガエル	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	■						
	アオガエル	シロアゴガエル	<i>Polypedates leucomystax</i>	■	■					

■ 国内で生態系等に影響を与えるおそれについて文献等で指摘があるもの。

: 日本Worst100

□ 海外の文献等で生態系等に影響を与えるおそれについて指摘があるもの。

: 世界Worst100

影響の可能性が指摘されている外来生物（爬虫類・両生類）の例（未定稿）に係る主な参考文献

爬虫類・両生類

一般（複数種）

- 日本生態学会（編） 村上興正・鷲谷いづみ（監）(2002) 外来種ハンドブック．地人書簡．
- 日本林業技術協会（2002） 平成 14 年度小笠原地域自然再生推進調査報告書．
- 日本林業技術協会（2003） 平成 15 年度小笠原地域自然再生推進計画調査報告書．
- 太田英利（1995） 琉球列島における爬虫・両生類の移入， 沖縄島嶼研究,13:63-78

グリーンアノール（ブラウンアノール）

Campbell, T. S.(1999) Consequences of the Cuban brown anole invasion: it's not easy being green. *Anolis Newsletter* V:12-21.

荻部治紀(2004) 小笠原固有のトンボ類の現状 - トンボ類はいつごろ、なぜ減ったか？ - . 小笠原における昆虫相の変遷 - 海洋島の生態系に対する人為的影響 - , 神奈川県立生命の星・地球博物館年報,10:31-46.

荻部治紀・須田真一(2004) グリーンアノールによる小笠原の在来昆虫への影響（予報）. 小笠原における昆虫相の変遷 - 海洋島の生態系に対する人為的影響 - , 神奈川県立生命の星・地球博物館年報,10:21-30.

鈴木晶子(1996) 小笠原諸島母島の移入種グリーンアノールと在来種オガサワラトカゲとの資源分割. 奈良女子大学修士論文, 25pp.

高桑正敏・須田真一(2004) オガサワラシジミの衰亡とその要因 - . 小笠原における昆虫相の変遷 - 海洋島の生態系に対する人為的影響 - . 神奈川県立生命の星・地球博物館年報,10:47-54.

オオヒキガエル

Covacevich and Archer (1975) The distribution of the cane toad, *Bufo marinus* and its effects on indigenous vertebrates. *Memoirs of the Queensland Museum*. 17:305-310.

自然環境研究センター（2003） 平成14年度西表島移入種対策事業（オオヒキガエル）調査報告書,57pp.

ウシガエル

Hirai, T. (2004) Diet composition of introduced bullfrog, *Rana catesbeiana*, in the Mizorogaike Pond of Kyoto, Japan, *Ecological Research*, 19:375-380

長谷川雅美(1999) ウシガエルの秘められた歴史. 平成十一年度特別展カエルのきもち展示解説書, 100-107.

ヘビ類

勝連盛輝・西村昌彦・香村昂男(1996) 沖縄諸島において本来の分布地とは異なる地域で採集されたヘビ. 沖縄生物学会誌, 34:1-7.

西村昌彦・赤嶺博行（2002） 沖縄島南部において 1976 年に逃亡後定着した侵入種サキシマハブの分

散範囲—2002 年時点の予備的な調査の結果，沖縄県衛生環境研究所報，36:89-92.

Fritts, T. (1988) The brown tree snake, *Boiga irregularis*, a threat to Pacific Islands. U.S. Fish and Wildlife Service Biological Reports 88(31). 36pp.

Savidge, J. A. 1987. Extinction of an island forest avifauna by an introduced snake. Ecology 68: 660-668

カメ類

小林頼太(2003) カミツキガメ．滋賀県琵琶湖博物館企画展示資料：74-75.

矢部 隆(2003) ミシシippアカミミガメ．滋賀県琵琶湖博物館企画展示資料：72-73.